

JR連合 政策News

第224号

2012年8月7日

国会議員懇談会で九州北部豪雨災害やツアーバス事故等に関する対応を確認！

次年度予算及び税制要望内容についても意思統一を図る！

JR連合は、8月3日朝、衆議院第2議員会館第5会議室において、第53回国會議員懇談会を開催した。

懇談会には、社会保障と税の一体改革関連法案等で国会運営が厳しい状況の中、松野頼久会長（衆）、高木義明顧問（衆）、中野寛成顧問（衆）、岩本司農水副大臣など11名の国会議員と秘書7名、JR連合、JR単組代表者等が参加し、中長期的な政策課題、ツアーバス問題、当面の組織課題、そして先般発生した九州北部豪雨の被災路線に対する対応などについて報告、討議を行い、今後の取り組み方針について意思統一を行った。なお、今回は、各単組との連携を強化すべく、JR連合政策委員会の各単組政策委員や青年・女性委員会議長も参加し、中長期政策課題などについて意見交換を行った。



冒頭松野会長から、高速ツアーバス問題に対する抜本的な対策を行う決意を述べるとともに、社会保障と税の一体改革関連や特例公債、議員定数削減をめぐる政局報告などを行った。また、次年度概算要求、税制改正についても触れ、今回集約されたJR連合の要望事項を国政に反映させる決意を述べた。

JR連合を代表して坪井会長は、先般開催されたJR連合第21回定期大会・結成20周年記念行事に対する御礼を述べるとともに、今後JR連合の取り組み方針の一端を紹介し、引き続きのJR連合国会議員懇談会所属議員との連携強化を訴えた。

議事では、4月に続いて8月2日にも発生したツアーバス事故を鑑みた今後のバス事業に関する対応、2013年度予算・税制改正に関わる要望事項の確認、中長期的政策PTの進め方、九州北部豪雨に関する対応などについて協議・確認を行った。

ツアーバスに関しては、極めて重大な事故が立て続けに発生したことを重く受け止め、現在国交省内で議論されている今後のバス事業に向けた方向性を踏まえつつ、高速バスの安全確立にむけて全力で取り組むことを全体で確認した。

また、九州北部豪雨災害に関しては、JR九州労組が現下の被災状況について説明を行うとともに、復旧に向けた取り組みに各方面からお力添えを頂く旨要請を行った。

JR連合はJRの責任産別として、JRに関わる政策課題の解決に向けて、国会議員懇談会各メンバーと連携を強化し、取り組んでいく所存である。